

建設工事の総合評価落札方式における評価項目の見直し (建設工事における継続学習 (CPD) の加点評価)

1. 現状と課題

継続学習は、技術者の自己研鑽の活動を通じた技術力と資質の向上を目的とする取組で、総合評価落札方式導入当初から技術者要件において、この取組を加点評価している。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、R2、3年度と2年連続で評価項目に設定しないとする取扱いを行ったところであるが、新型コロナウイルスだけでなく、近年、頻発化する自然災害等を含めこうした突発性リスクに対しても制度運用できるようにしていく必要がある。

2. 見直し内容

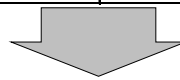
- 評価対象期間の見直し (期間見直しに伴う取得単位数の変更)

現行 1年間 ⇨ **見直し 3年間**

- R4、R5年度の取得単位数緩和措置

(R4年度：見直し後の1/2 (例 60P→30P)、R5年度：見直し後の2/3 (例 60P→40P))

		現 行	
評価対象期間		1年間	
取 得 単 位 数	建設系CPD	20P以上	10P以上
	建築系CPD	12P以上	6P以上
評 価 点		0.75点	0.5点



		令和4年度 (緩和措置期間)		令和5年度 (緩和措置期間)		令和6年度以降 (本運用)	
評価対象期間		3年間 (R元~R3)		3年間 (R2~R4)		3年間	
取 得 単 位 数	建設系CPD	30P以上	15P以上	40P以上	20P以上	60P以上	30P以上
	建築系CPD	18P以上	9P以上	24P以上	12P以上	36P以上	18P以上
評 価 点		0.75点	0.5点	0.75点	0.5点	0.75点	0.5点

3. 実施時期

令和4年4月の公告案件から適用